

倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体の 活動状況等に関するアンケート報告書

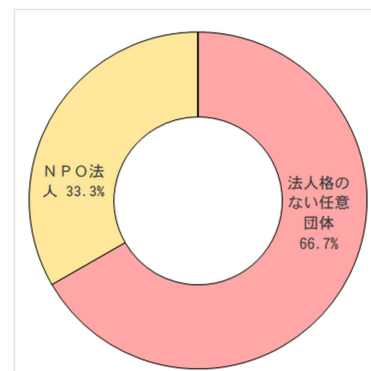
調 査 の 概 要

- | | | | |
|---------|---|--|-----------|
| 1 調査目的 | このアンケートは、市内に活動拠点をおく市民活動団体の活動状況等を把握することで、団体の現状や運営上の課題を明確にし、本市における市民活動団体の活動支援策の検討資料として活用するものです。 | | |
| 2 実施主体 | 倉吉市（市民生活部地域づくり支援課） | | |
| 3 調査期間 | 令和 7 年 9 月 13 日（土）から 10 月 3 日（金）まで | | |
| 4 調査対象 | 倉吉市内に活動拠点をおく市民活動団体 | | |
| 5 調査項目 | ・団体の概要について | | （問 1 ～ 5） |
| | ・活動の支援について | | （問 6 ～ 7） |
| | ・協働のまちづくり助成事業について | | （問 8） |
| 6 調査方法 | ・アンケート【回答書】に記入のうえ、郵送またはメールで回答
・Google フォームの QR コードを読み取り、オンラインで回答 | | |
| 7 調査結果 | 比率は百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。 | | |
| 8 調査回収率 | 34.8%（回答 32 団体／調査 92 団体）
（前年度比 2.6 ポイント増 ※前年度調査回収率：32.2%） | | |

団体の概要について

貴団体の概要（団体種別）について、ご記入ください。

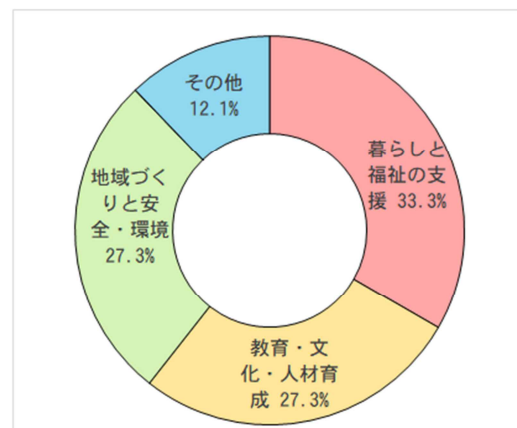
項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	法人格のない任意団体	8	66.7%
2	NPO法人	4	33.3%
3	一般社団・財団法人	0	0.0%
4	その他	0	0.0%
	合計	12	100.0%



- 地元住民や既存の地域団体、特定の趣味や問題意識などを共有する仲間により構成されたサークルなどの任意団体が多く存在している。

問1 活動分野について、最もあてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答あり）

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	暮らしと福祉の支援	11	33.3%
2	教育・文化・人材育成	9	27.3%
3	地域づくりと安全・環境	9	27.3%
4	安心して暮らせる社会づくり	0	0.0%
5	科学技術と経済振興	0	0.0%
6	その他	4	12.1%
	合計	33	100.0%



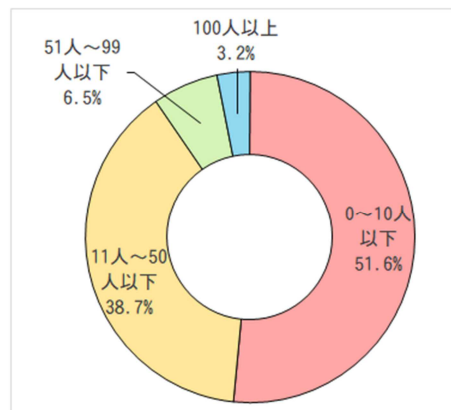
* その他（自由記載）

- ・ボランティア活動、奉仕活動、国際理解活動
- ・乳幼児の親子のくつろぎ支援
- ・倉吉駅ビルの管理

- 活動分野については、「暮らしと福祉の支援」が33.3%と最も高く、次いで「教育・文化・人材育成」「地域づくりと安全・環境」となっており、地域や人に直接関わる活動に取り組んでいる団体が多いことが見て取れる。一方で「安心して暮らせる社会づくり」「科学技術と経済振興」などは専門性が高く、資金や人材の面で取り組む団体の数が少ないと推測される。

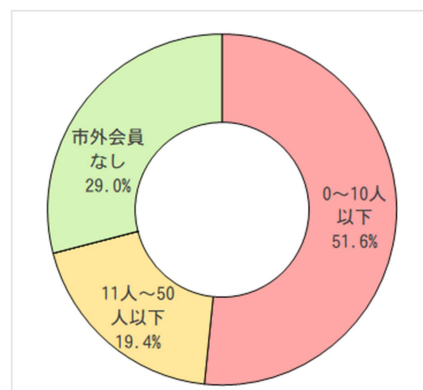
問 2-1 市内在住会員数について、ご記入ください

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～10人以下	16	51.6%
2	11人～50人以下	12	38.7%
3	51人～99人以下	2	6.5%
4	100人以上	1	3.2%
5	市内会員なし	0	0.0%
	合計	31	100.0%



問 2-2 市外在住会員数について、ご記入ください

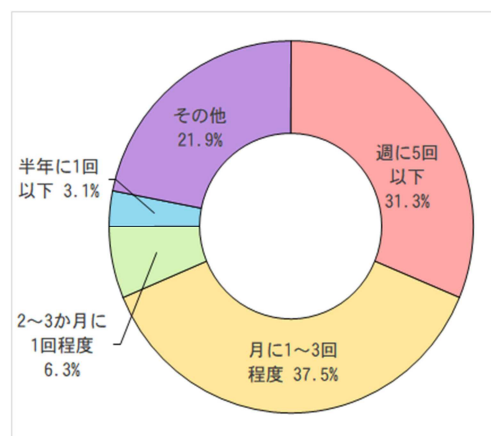
項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	0～10人以下	16	51.6%
2	11人～50人以下	6	19.4%
3	51人～99人以下	0	0.0%
4	100人以上	0	0.0%
5	市外会員なし	9	29.0%
	合計	31	100.0%



- 市内・市外の会員ともに会員数は0～10人以下であると回答した団体が半数を超えていた。市による支援も小規模団体特有のニーズに沿うものを検討していく必要がある。

問 3 活動の頻度について、最もあてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	週に5回以下	10	31.3%
2	月に1～3回程度	12	37.5%
3	2～3か月に1回程度	2	6.3%
4	半年に1回以下	1	3.1%
5	その他	7	21.9%
	合計	32	100.0%



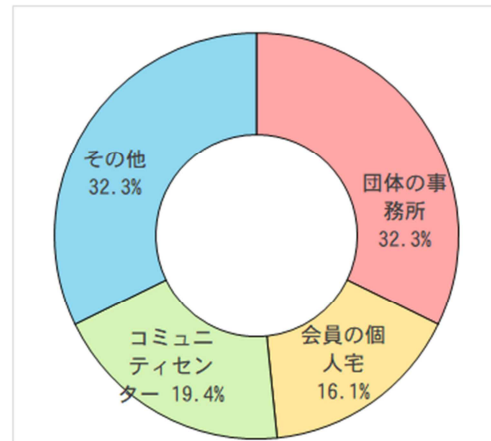
* その他（自由記載）

- ・毎年4月～9月の第3日曜、計6回
- ・定例会月1回 イベント毎月29日に1回
- ・ホテルの発生時期

- 団体の活動頻度については「月に1～3回程度」と答えた割合が最も多く、37.5%を占めている。「2～3ヶ月に1回程度」および「半年に1回以下」と回答した団体は合計で9.7%と少数であるが「その他」の自由記載内容から、特定のイベント活動や季節的な取り組みを中心とする団体の存在が一定数あることが読み取れる。

問4 主な活動拠点について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	団体の事務所	10	32.3%
2	会員の個人宅	5	16.1%
3	コミュニティセンター	6	19.4%
4	自治公民館	0	0.0%
5	その他	10	32.3%
	合計	31	100.0%



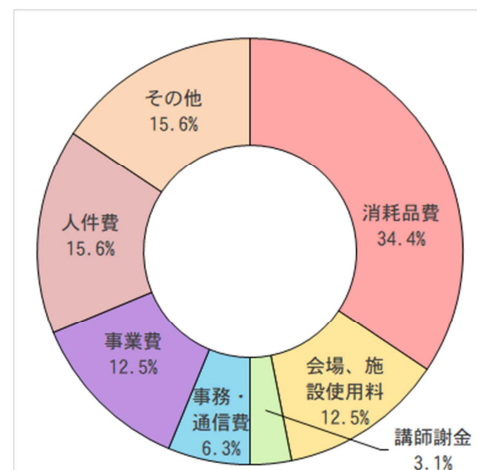
* その他（自由記載）

- ・学校法人松柏学院倉吉北高等学校
- ・倉吉市文化活動センター
- ・障がい者グループホーム
- ・市役所
- ・エースバック未来中心
- ・野外

➤ 主な活動拠点については「団体の事務所」が32.3%で最多となっており、常設の拠点を持つ団体が多い。次いで「コミュニティセンター」「会員の個人宅」など安価で会員が集まりやすい場所が活動拠点として利用されている。

問5 団体活動にかかる経費の中で支出の多い費目について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答あり）

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	消耗品費	11	34.4%
2	会場、施設使用料	4	12.5%
3	講師謝金	1	3.1%
4	事務・通信費	2	6.3%
5	事業費	4	12.5%
6	人件費	5	15.6%
7	その他	5	15.6%
	合計	32	100.0%



* その他（自由記載）

- ・燃料費

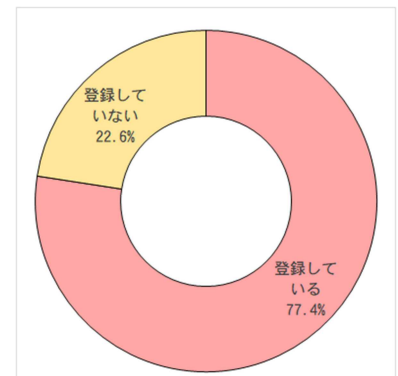
➤ 団体活動にかかる経費の中で支出の多い費目については「消耗品費」が最も高く、34.4%を占めており、昨今の物価高騰の影響により、日々の活動に必要な物品のコストが増加していることが一因と考えられる。次いで「人件費」「会場・施設使用料」「事業費」が多くを占めており、これらの支出構成から、活動内容の違いにかかわらず、活動を維持・運営するための基盤的なコストに多くの費用が割かれていると考えられる。

活動の支援について

問6-1 「市民活動団体」として倉吉市に登録していますか。

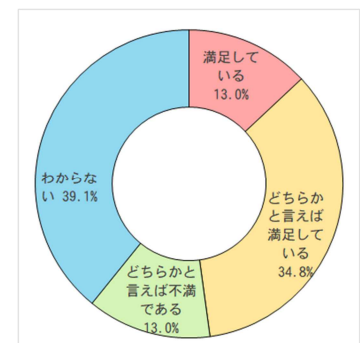
あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	登録している	24	77.4%
2	登録していない	7	22.6%
	合計	31	100.0%



【問6-2】「【問6-1】1 登録している」と回答した方に質問します。倉吉市では、「市民活動団体」として登録していただいた団体に対し、各種情報のご案内、団体及び団体活動の広報支援等を行っています。倉吉市の支援についてどう思われますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	満足している	3	13.0%
2	どちらかと言えば満足している	8	34.8%
3	どちらかと言えば不満である	3	13.0%
4	不満である	0	0.0%
5	わからない	9	39.1%
	合計	23	100.0%

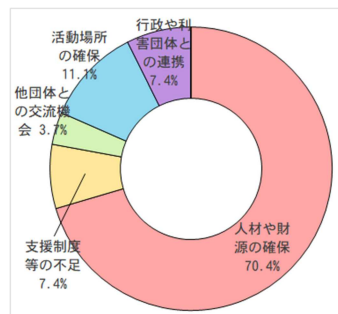


- 倉吉市の支援について「満足している」「どちらかと言えば満足している」が47.8%と半分近くを占めている。一方で「わからない」と回答した団体が39.1%と選択項目の中では最多であり、こうした団体の抱えるニーズを把握し、支援につなげることが求められる。

【問7】活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、下記番号の中から当てはまる順に①、②に番号をご記入ください。また、課題解決のために行政に望む支援策の具体的な内容についてお答えください。

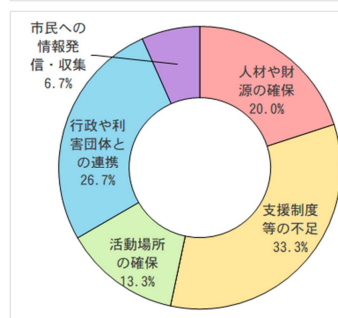
①

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	人材や財源の確保	19	70.4%
2	支援制度等の不足	2	7.4%
3	他団体との交流機会	1	3.7%
4	活動場所の確保	3	11.1%
5	行政や利害団体との連携	2	7.4%
6	市民への情報発信・収集	0	0.0%
	合計	27	100.0%



②

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	人材や財源の確保	3	20.0%
2	支援制度等の不足	5	33.3%
3	他団体との交流機会	0	0.0%
4	活動場所の確保	2	13.3%
5	行政や利害団体との連携	4	26.7%
6	市民への情報発信・収集	1	6.7%
	合計	15	100.0%



➤ 活動を進めていくうえでの課題や困りごとについて、最も当てはまる項目は「人材や財源の確保」が70.4%となっている。また、課題や困りごとの2番手としては「支援制度等の不足」が33.3%と最多であり、記載内容からも活動拠点の整備や適宜利用可能な費用補助が求められている。

【問7】行政に望む具体的支援策について(自由記載)

項目番号	記述内容
1.人材や財源の確保	・役員等の担い手が不足している ・会員に若者が少ない ・活動場所を維持するための財源が不足している ・新しい助成枠の確保 (30 万円程度の助成枠があると事業の拡大が図れる) ・助成金額の増額 (10 万円では足りないことが多い)
2.支援制度等の不足	・事業展開を行う上で、関係団体等を集めたスタートアップまでのつながりを構築する ・各団体の事業協力をしてくれそうなところを集めたプレゼン機会の創出など ・道具または体育館などの費用に対しての補助制度 ・現在事務局を会長宅に置いているがボランティアが集まる場所が欲しい ・会員が高齢のため時代の流れに乗りきれない
3.他団体との交流機会	・デジタルではなく書面での連絡 ・海外の学生等とボランティア交流をしたいが、どうしたらいいかわからない
4.活動場所の確保	・活動場所 (NPO 事務所) ・緊急時に広範囲に及ぶ無線装置を山に設置してほしい ・倉吉打吹まつりに伝承の輪踊りを紹介してほしい
5.行政や利害団体との連携	・高齢者が多く苦戦している
6.市民への情報発信・収集	(記載なし)

協働のまちづくり助成事業

＜倉吉市協働のまちづくり活動助成事業とは＞

公共的課題を解決する活動に参画している市民活動団体の活動を支援することにより、本市の市民活動の促進を図り、もって市民参画と協働のまちづくりを推進することを目的として、当該団体が行う活動費用に対して助成金を交付するもの。

問 8-1 上記事業を利用したことがありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	利用したことがある	13	44.8%
2	利用したことがない	16	55.2%
	合計	29	100.0%

問 8-2 「【問 8-1】 1 利用したことがある」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業は継続していますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	継続している	8	61.5%
2	継続していない	5	38.5%
	合計	13	100.0%

➤ 倉吉市協働のまちづくり活動助成事業を利用した団体の約 6 割が事業を継続し、公共的課題の解決に取り組まれている。

問 8-3 「【問 8-2】 2 継続していない」と回答した方に質問します。

上記事業を利用し実施した事業を継続・発展するために必要な要素について、あてはまる番号に「○」をご記入ください。（複数回答可）

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	活動資金の継続的な確保	4	36.4%
2	活動人員、協力者の確保	5	45.5%
3	活動に対する理解	1	9.1%
4	団体、事業の P R	0	0.0%
5	地域や企業、行政機関との連携	1	9.1%
	合計	11	100.0%

➤ 事業を継続・発展するために必要な要素については、近年「活動資金の継続的な確保」が最多であったが、今回のアンケートでは「活動人員、協力者の確保」が 45.5%と最多となった。

問 8-4 今後、上記事業を利用する計画はありますか。あてはまる番号に「○」をご記入ください。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	はい	9	42.9%
2	いいえ	12	57.1%
	合計	21	100.0%

- 市民活動団体の求める支援策や社会の変化を捉えながら、公共的課題の解決に向けた活動に取り組む団体の活動促進に繋がる支援が求められている。

問 8-5 「【問 8-1】 2 利用したことがない」と回答した方に質問します。

上記事業のどのような点に魅力がありませんでしたか。

項目番号	選択項目	回答数	構成比
1	申請手続きと報告事務の煩雑さ	2	11.8%
2	金額と申請のバランス	3	17.6%
3	他の補助金(倉吉市)を申請している	2	11.8%
4	運営上なくても問題無い	2	11.8%
5	助成金について知らなかった	4	23.5%
6	その他	4	23.5%
	合計	17	100.0%

- 助成金を利用したことがないと回答した中で「助成金について知らなかった」と回答した団体は 23.5%と最多となっている。助成金については市民活動団体として市に登録した団体へメールまたは郵送で案内を送付するほか、市報への掲載ならびに市ホームページで情報提供をしているが、更に広く周知するための方法を検討する必要がある。また、助成事業の存在については知っていても対象経費が分からないという声もあるため、相談対応も含めて募集期間についても検討の余地がある。



倉吉市市民生活部地域づくり支援課 令和7年11月発行
〒682-8633 鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1
TEL：0858-22-8159
FAX：0858-23-8230
E-mail：simin@city.kurayoshi.lg.jp